

第2回理事会報告

- 日 時 令和6年1月23日(火) 午後3時～同4時15分
オンライン (Zoom) 開催
- 出席者 <会 長> 住友雅人
<副 会 長> 小林隆太郎、川口陽子
<総務理事> 天野敦雄
<常任理事> 末瀬一彦、松尾 健、宇尾基弘、小峰 太、
宇田川信之、林 美加子、新谷誠康、水口俊介、
秋山仁志、細川隆司
<理 事> 佐藤真奈美、窪木拓男、齋藤 功、三宅達郎、
都留寛治、金田 隆、宮脇卓也、渋谷 鑛、
尾崎哲則、松野智宣、小笠原 正、依田哲也、
豊澤 悟、坪田有史、柴 秀樹、安井利一、
坂下英明
- 欠席者 <常任理事> 桐田忠昭、沼部幸博
<理 事> 横瀬敏志

※【来館出席】住友会長、小林副会長、川口副会長、天野総務理事、
末瀬常任理事、宇尾常任理事、小峰常任理事

開会に先立ち、天野総務理事より、理事総数34名のうち30名の出席を得て
おり、日本歯科医学会規程第17条の規定により本理事会は成立していることが
報告された。(※最終的な出席者は31名)

[議長 天野総務理事]

1. 開 会

天野理事から、開会の辞が述べられた。

2. 挨拶

住友会長から、挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 会務報告

(1) 一般会務報告

天野総務理事から、以下の項目について報告。

令和6年能登半島地震災害への義援金について

一般会務報告（令和5年7月1日～令和6年1月16日）

第1回理事会報告（令和5年7月4日開催）

(2) 各種委員会開催状況について

天野総務理事から、令和6年1月19日現在の各種委員会の開催状況等について、資料に基づき報告。

(3) 専門・認定分科会への情報提供

天野総務理事から、新執行部発足の令和5年7月1日以降、情報提供項目12件について、資料に基づき報告。

(4) 役員派遣

天野総務理事から、新執行部発足の令和5年7月1日以降、27件の役員派遣について、資料に基づき報告。

2) 会計現況報告

松尾常任理事から、以下の項目について資料に基づき報告。

学会会収支計算書（令和5年4月1日～令和5年11月30日）

学術大会会計収支計算書（令和5年4月1日～令和5年11月30日）

3) 第25回日本歯科医学会学術大会報告

川口副会長から、標記について、計画概要、趣意書および準備委員会組織図に基づき報告。

4) 理事・評議員等の変更について

天野総務理事から、下記のとおり、日本歯科麻酔学会選出の理事・評議員・予備評議員の変更について報告。

役 職	新	旧	所 属
理 事	宮脇 卓也	飯島 毅彦	日本歯科麻酔学会
評 議 員	讃岐 拓郎	砂田 勝久	
評 議 員	松浦 信幸	丹羽 均	
予備評議員	塩谷 伊毅	讃岐 拓郎	
予備評議員	前田 茂	松浦 信幸	

※就任時期は令和 5 年 10 月 6 日

5) 日本歯科医学会会員管理業務契約解除について

小林副会長から、標記について、専門分科会ならびに認定分科会の会員の重複を排除した実質会員を把握するための会員管理業務を口腔保健協会に委託していたが、個人情報の取り扱いに問題があることが懸念される。したがって、口腔保健協会との契約を昨年 10 月末日で解約し、今後、個人を識別できる情報は一切収集せず、各分科会の会員数と日歯会員数の延べ人数を本学会の会員数として公表する旨、報告。

6) The Japanese Dental Science Review (JDSR) の共同名義に関わる契約締結について

小峰常任理事から、昨年 8 月開催の日歯理事会における本学会と日歯との JDSR の共同名義発行の決定を受けて、本学会とエルゼビアとの出版契約、日歯とエルゼビアとの Society Affiliation 用の契約を昨年 12 月に締結した。なお、本学会とエルゼビアとの契約については、昨年 11 月開催の日歯理事会において本学会長への契約締結権限委任が承認されたことにより、住友会長名で契約締結を行った。また、JDSR 表紙に記載する両団体の雑誌であることの記述については、▽上段に日歯、下段を学会とし、日歯は「Official journal of Japan Dental Association」、学会は従前どおり「Official journal of Japanese Association for Dental Science」とする。ただし、日歯会章の表紙への掲載は行わない。また、共同名義発行は、令和 6 年 12 月発行の JDSR 第 60 巻からとする、以上を報告。

- 7) 日本歯科医学会専門分科会加入申請学会(令和5年8月1日公示)について
川口副会長から、令和5年8月1日付にて公示し、同11月30日に締め切ったところ、5学会（日本歯科審美学会、日本口腔診断学会、日本口腔顔面痛学会、日本顎咬合学会、日本口腔腫瘍学会）より加入申請があり、現在、専門・認定分科会資格審査委員会にて審議中である旨、報告。
- 8) 日本歯科医学会認定分科会登録申請学会(令和5年8月1日公示)について
川口副会長から、標記について、令和5年8月1日付にて公示し、同8月31日に締め切ったところ、3学会（日本ヘルスケア歯科学会、日本全身咬合学会、日本顕微鏡歯科学会）登録申請があり、専門・認定分科会資格審査委員会からの報告を踏まえ、本日の議題にて審議する旨、報告。
- 9) 第39回「歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い」について
末瀬常任理事から、標記について、ポスター、抄録に基づき報告。
- 10) 研究倫理審査申請書 審査結果について
川口副会長から、標記について資料に基づき報告。
研究課題名：病院における医科・歯科連携に関する調査（令和5年度）
実施責任者：日本歯科総合研究機構 主任研究員 恒石美登里
審査結果と通知日：2023年9月13日承認
- 11) 利益相反申告書 審査結果について
川口副会長から、標記について資料に基づき報告。
研究課題名：病院における医科・歯科連携に関する調査（令和5年度）
実施責任者：日本歯科総合研究機構 主任研究員 恒石美登里
利益相反の有無と該当項目：無
- 12) 令和6年度諸会議開催予定について
天野総務理事から、標記について資料に基づき報告。

13) 関連団体からの報告

日本学術会議報告

村上歯学委員会委員長から、今期の日本学術会議について報告。

国際歯科研究学会日本部会報告

森山会長から、2024年度活動予定について、資料に基づき報告。

日本口腔科学会報告

片倉理事長から、口頭にて現況報告。

日本歯科総合研究機構報告

恒石主任研究員から、口頭にて現況報告。

日本歯科医学会連合報告

宮崎副理事長から、日本歯科医学会連合雑誌および Asian Pacific Journal of Dentistry について、資料に基づき報告。

14) その他

小林副会長から、令和6年度診療報酬改定に向けて、日本歯科医学会分科会から本学会へ104項目の医療技術評価提案書が提出され、歯科医療協議会により内容のブラッシュアップを行い、厚生労働省へ提出した結果、過日の医療技術評価分科会にて、27項目が“診療報酬改定において対応する優先度が高い技術”として評価された旨、報告。

4. 議 題

1) 令和6年度専門分科会助成金等の配分に関する件

天野総務理事から、「日本歯科医学会専門分科会助成金配分基準」に則り、令和5年9月末の会員数をもとに算出した専門分科会への助成金および分担金について諮られ、前年度に比べ、日本スポーツ歯科医学会が会員数増により増額したことを確認のうえで、全会これを承認。

また、認定分科会への助成金および分担金については、「認定分科会等助成金・分担金算出基準」に則り、助成金は一律12万円、分担金は一律3万円とすることを併せて承認。

2) 顕彰審議会答申の取り扱いに関する件

天野総務理事から、顕彰審議会からの答申書を踏まえ、下記 7 名（研究部門 3 名、教育部門 3 名、地域歯科医療部門 1 名）を令和 5 年度日本歯科医学会会長賞授賞者とするについて諮られ、全会これを承認。

<研究部門>

石井 信之（神奈川歯科大学教授／日本歯科保存学会推薦）

井上 富雄（昭和大学名誉教授／昭和大学歯学部推薦）

松村 英雄（日本大学特任教授／日本補綴歯科学会推薦）

<教育部門>

飯島 毅彦（昭和大学客員教授／日本歯科麻酔学会推薦）

大川 周治（明海大学臨床教授／日本磁気歯科学会推薦）

小林 馨（鶴見大学名誉教授／鶴見大学歯学部推薦）

<地域歯科医療部門>

深井 穫博（埼玉県歯科医師会会員／日本口腔衛生学会推薦）

3) 専門・認定分科会資格審査委員会報告の取り扱いに関する件

（認定分科会登録申請学会）

川口副会長から、認定分科会へ登録申請があった 3 学会（日本ヘルスケア歯科学会、日本全身咬合学会、日本顕微鏡歯科学会）に関する専門・認定分科会資格審査委員会の審査結果について説明があり、登録の可否についてそれぞれ学会ごとに無記名投票にて決定することを提案。

投票の結果、3 学会（日本ヘルスケア歯科学会、日本全身咬合学会、日本顕微鏡歯科学会）すべて登録不可とすることで全会これを承認。

4) 第 112 回評議員会の開催に関する件

天野総務理事から、標記会議を令和 6 年 2 月 20 日（火）午後 2 時よりオンライン開催することについて諮られ、全会これを承認。

なお、▽令和 5 年度日本歯科医学会会長賞授賞式については、授賞者に来館いただき、執り行うこと、▽本日の議題「専門・認定分科会資格審査委員会報告の取り扱いに関する件」で申請があった 3 学会（日本ヘルスケア歯科学会、日本全身咬合学会、日本顕微鏡歯科学会）が登録不可となったことに伴い、原案で示された第 1 号議案「認定分科会への登録に関する件」および

第 2 号議案「日本歯科医学会規程の一部改正に関する件」を取り消すこと、以上を確認。

5) 認定分科会への登録に関する件

天野総務理事から、標記について、第 112 回評議員会に上程しないことを確認。

6) 日本歯科医学会規程の一部改正に関する件

天野総務理事から、標記について、第 112 回評議員会に上程しないことを確認。

7) 令和 6 年度日本歯科医学会事業計画（活動計画）に関する件

天野総務理事から、標記について諮られ、審議。

本年度との変更点は、Ⅱ一般計画（7）「歯科学術用語集の普及・改訂」から「歯科学術用語集の普及・検討」の 1 か所で、それ以外の事業は全て継続することを確認したうえで、原案どおり全会これを承認。

本件を第 112 回評議員会に第 1 号議案として上程することを確認。

8) 令和 6 年度学会会計収支予算に関する件

松尾常任理事から、標記について、資料に基づき諮られ、原案どおり全会これを承認。

本件を第 112 回評議員会に報告事項としてあげることを確認。

9) 令和 6 年度第 25 回日本歯科医学会学術大会会計収支予算に関する件

松尾常任理事から、標記について、資料に基づき諮られ、原案どおり全会これを承認。

本件を第 112 回評議員会に報告事項としてあげることを確認。

5. 閉 会

川口副会長から、閉会の辞が述べられた。